

小学校6年生に自衛隊の職業講話を実施



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3陸佐）は1月26日（金）、横浜市立根岸小学校（横浜市磯子区）において、6年生の児童70名に職業講話を実施した。

講話前に校長先生に挨拶し、「本日は、自衛隊の災害派遣を中心にお話しします」と話したところ、「6年生が実施したフードドライブ（家庭で余った食品を集めて福祉施設等に寄付する地域活動）がきっかけとなり、能登半島地震の被災地に何か支援できることはないかと、児童が自主的に行動を起こそうとしている」という話を伺い、児童たちが今回の震災に関心を持ち、被災地支援のために何かしたいという気持ちを抱いていることがよく分かった。

講話では、自衛隊の災害派遣のDVDを視聴した後、自己完結組織である自衛隊の様々な職種・職域を災害派遣時の各種活動と関連付けて紹介した。日頃目にするのがない自衛隊の装備品や部隊の活動の様子を映像で見てから説明をしたことで、児童たちも、思い思いに感想を言ったりメモを取ったりして熱心に話を聞いてくれ、質疑応答でも、「仕事のやりがい」や「大変だったこと・楽しかったこと」、「災害がないときの普段の活動」、「職種や職域の決まり方」等、様々な質問が活発に出て、多くの児童が自衛隊に興味を持ってくれたと感じた。

また、担任教諭からも「職域が広く、多くの女性も活躍されている職場だと知り驚きました。児童たちの職業選択肢の一つになればいいと思います」と評価していただき、自衛隊への理解促進に貢献できたものと思う。

上大岡募集案内所では、「今後も学校との連携を深め、多くの児童や教職員に自衛隊の魅力を伝えて行きたい」としている。

